

活動分野：

文化・スポーツ振興

研究者名（研究グループ名）：

附属図書館 川崎 安子

## 活動概要

写真家・小野啓さんとのワークショップ「ポートレートを撮り合ってみよう」を西宮市立鳴尾図書館で共同開催。合わせて、「小野啓写真展・NEW TEXT」を鳴尾図書館と本学図書館で開催。

## 研究者・研究グループからの「ひとこと」

中央図書館で開催した巡回展「小野啓写真展・NEW TEXT」では、司書課程の学生が企画・準備に参画しました。様々な写真集を紹介したほか、iPadを活用した視覚に訴える展示も取り入れ、創意工夫しながら作り上げました。

## 活動内容

活動・研究・委託テーマ	図書館間地域連携・写真展巡回展
対象となる地域・企業等	西宮市立鳴尾図書館
活動学生(ゼミ・学年等)	武庫川女子大学附属高等学校、 司書課程「図書館サービス概論」受講学生
連携時期	2015年3月～6月
学外への広報方法	ポスター掲示、チラシ配付、ホームページ告知
連携内容	写真家・小野啓さんとのワークショップ「ポートレートを撮り合ってみよう」を西宮市立鳴尾図書館で共同開催し、本学附属高校を含む6校28名の高校生が参加。合わせて、「小野啓写真展・NEW TEXT」を鳴尾図書館と本学図書館で開催。写真展の企画・準備には、司書課程「図書館サービス概論」の履修学生が携わった。
成果	本学の高大連携プログラムとして学生・生徒間のつながりを構築。 他校生・地域住民の方々への本学紹介。 地元公共図書館との協力体制の強化。

## 活動内容PR(活動の様子・参加者の声等)

小野啓さんは『桐島、部活やめるってよ』（朝井リョウ著）や『アンダスタンド・メイビー』（島本理生著）の装丁写真で知られる写真家で、全国の高校生を撮影することをライフワークに、2002年からのべ600人のポートレートを撮り続けています。その際の被写体への条件が「正対すること」「視線をレンズに向けること」「笑顔をつくらず真顔で」の三点で、高校生たちが何を考え、何に悩みながら生きているのか、ということを書真で切り出して表現されています。ワークショップ第1部では実際にこの三点を意識して、生徒たちが互いにポートレートを撮影。第2部では各々がベスト作品を提出し、小野さんが1枚ずつ講評しました。写真部の部長、余川明歩さん（当時）は「初めてポートレートを撮りました。撮り方のコツなど具体的にプロの指導を受けることができて楽しかったです」、図書館情報委員副委員長の加納奈那子さん（当時）も「いつも見ている風景や友達が違って見えました。このようなワークショップが図書館で開催されるのは、利用促進にとっても有効だと思います」と語ってくれました。

